

## 設定不要のかんたん同時通話

工場出荷時の本機は、電源を入れるだけで2台のトランシーバー間で携帯電話のように同時通話ができます。

- 2台のトランシーバーの電源をONにします。  
呼び出し音が鳴った後、同時通話ができます。
- 同時通話をやめる時は[通話]ボタンを長押しします。

チャンネルを変えたい時は[通話]ボタンを長押しして通話を終わらせた後、どちらかのトランシーバーの[▼ On]または[▲機能]ボタンを押してチャンネルを選び、続けて[通話]ボタンを押すと、選んだチャンネルで同時通話ができます。

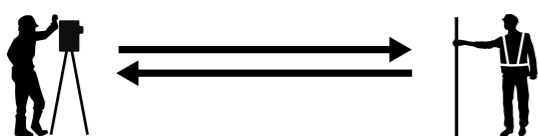
近くに他のトランシーバーがある場合は、それらのトランシーバーとは異なるグループコードに設定してください。

グループコードの設定は、次の手順で行います。

[▲機能]ボタンを押しながら電源ON → [▼ On]または[▲機能]ボタンを押して“GrP”で始まる表示にして[CUE]ボタンを押す → グループコードを選んで[CUE]ボタンを押す → [▲機能]ボタンを長押しして終了

## 2台のトランシーバーで同時通話を行う

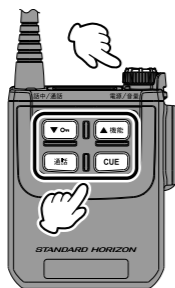
携帯電話のように同時に話ができます



この設定は一度だけです。次回も同じトランシーバー同士で通話する時は、電源をONにするだけで同時通話が可能です。

以下の手順で2台のトランシーバーを設定します。

- 一度2台のトランシーバーの電源をOFFにします。
- [▲機能]ボタンを押しながら電源をONにします。  
セットモードになり、“\* M”で始まる表示になります。
- この時の画面表示が“\* M D”以外の場合は、[CUE]ボタンを押してから[▼ On]または[▲機能]ボタンを押して、“\* M D”を選択して[CUE]ボタンを押します。




 2台で同時通話をする時の表示



- [▼ On]または[▲機能]ボタンを押して、“GrP”で始まる表示にして[CUE]ボタンを押します。
- 通話する相手と同じ番号(グループコード)にして[CUE]ボタンを押します。
- 以上の設定が終了したら[▲機能]ボタンを長押しします。  
チャンネル表示画面になります。
- お互いのチャンネルをあわせる必要はありません。どちらかのトランシーバーの[通話]ボタンを押します。  
「ブルルル」と呼び出し音が鳴った後、同時通話ができます。同時通話中は「話中/通話ランプ」がオレンジ色で点灯します。  
通話するチャンネルを決めている場合は、どちらかのトランシーバーの[▼ On]または[▲機能]ボタンを押してチャンネルを選び、続けて[通話]ボタンを押すと、選んだチャンネルで同時通話ができます。
- 同時通話をやめる時は[通話]ボタンを長押しします。

・次回同時通話を行う時に、表示されているチャンネルが使用中の時や別のチャンネルに変えたい時は、1台のトランシーバーでチャンネルを選んでから[通話]ボタンを押すと、もう一台のトランシーバーは自動的に同じチャンネルに切り替わり、同時通話ができます。

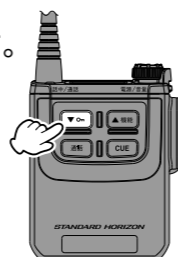
## [▼ On]と[▲機能]ボタンを押してもチャンネルが変わらないようにする

[▼ On]や[▲機能]ボタンが何かにぶつかり、チャンネルが変わってしまうトラブルを防ぐことができます。

 ボタンを長押しします。

約1秒間Lockが点灯して  
 と  ボタンがロックされます。

Lock



ロックを解除するには、もう一度[▼ On]ボタンを長押しします。“OFF”が点滅してロックが解除されます。

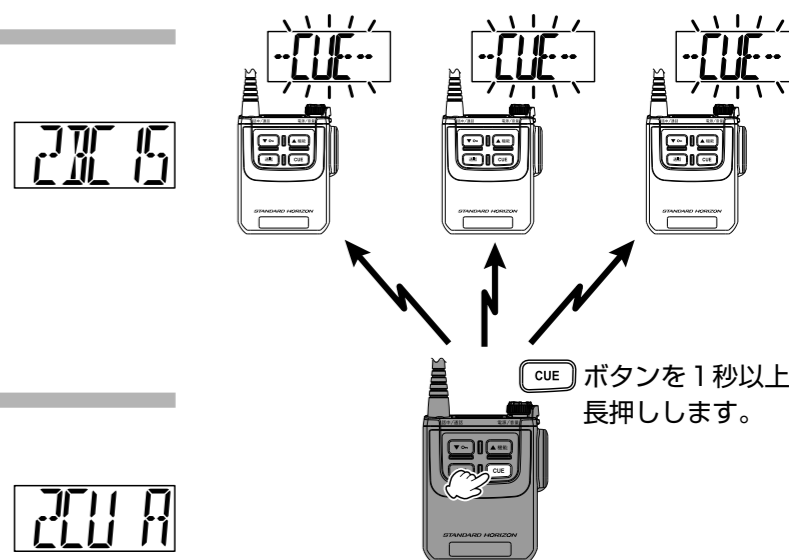
## CUE(キュー)機能による緊急アラーム送信

グループ全員のトランシーバーにアラームを鳴らして、緊急連絡や重要な用件の通知を行うことができます。この機能は受信側の音量ボリュームに関係なく、設定した音量\*でアラームが鳴り、同時に“話中/通話ランプ”が白色で点滅して、画面に“- CUE -”を表示させますので、騒音の中でも確実に緊急連絡や重要な用件の通知を行うことができます。グループ内のメンバー誰でも[CUE]ボタンを押すだけでCUE送信を行います。

- ・CUEを受信した後も、通話を続けることができます。
- ・“- CUE -”の表示と“話中/通話ランプ”の白色の点滅はいずれかのボタンを押すと元に戻ります。

## アラームの音量を変える

- 一度トランシーバーの電源をOFFにします。
- [▲機能]ボタンを押しながら電源をONにします。
- [▼ On]または[▲機能]ボタンを押して、“2BC”で始まる表示にして[CUE]ボタンを押します。
- [▼ On]または[▲機能]ボタンを押してアラームの音量を選びます(工場出荷時は“08”)。  
01(音量“小”)～15(音量“大”)
- [CUE]ボタンを押します。
- [▲機能]ボタンを長押しして終了です。



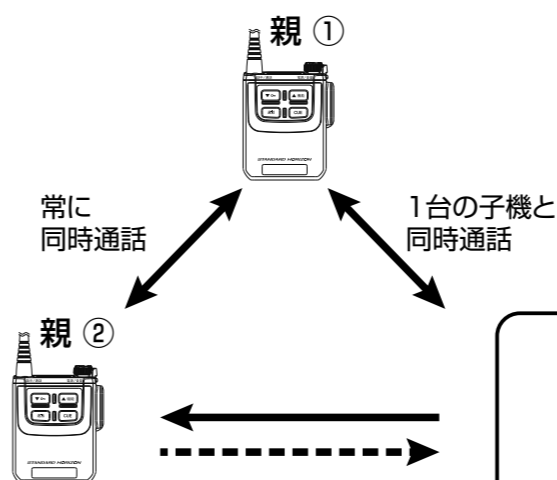
## アラームの種類を変える

- 一度トランシーバーの電源をOFFにします。
- [▲機能]ボタンを押しながら電源をONにします。
- [▼ On]または[▲機能]ボタンを押して、“2CU”で始まる表示にして[CUE]ボタンを押します。
- [▼ On]または[▲機能]ボタンを押してアラームの種類を“A”“B”“C”から選びます(工場出荷時は“A”)。
- [CUE]ボタンを押します。
- [▲機能]ボタンを長押しして終了です。

## 多者間で携帯電話のように話をする(FAMICS\*多者間同時通話システム)

\* Full Duplex Advanced Multi-user Inter-com System

## FAMICS 多者間同時通話システムのイメージ



・親①と親②は常に同時通話状態です。  
この通話は、子機全員(グループ全員)が聞くことができます。

・子機は何台でも増やすことができます。

・子機は誰でも親①と同時通話ができます。  
先に[通話]ボタンを押すかVOXで送信した子機が同時通話に参加できます。この通話は親②および受信中の子機全員が聞くことができます。送信中の子機は親②の音声は聞こえません。

親②の音声は  
常に全ての受信中の子機に聞こえる  
送信中の子機には聞こえない

子機① 子機② 子機N  
・・・何台でも可

送信：[通話]ボタンを押すかVOXで送信する。(親①と同時通話ができる)  
受信：親①と親②、他の送信している子機の通話が聞こえます。

## 親①または親②が同時通話から抜けた場合

休憩などで親①または親②が、電波の届かない場所に移動した時でも、残ったトランシーバーは自動で交互通話(単信方式)に切り替わりますので、グループ内の連絡を確保できます。この時の通話は[通話]ボタンを押しながら話をして、話が終わったら[通話]ボタンを放してください。

親①または親②が[通話]ボタンを長押しして通話から抜けた場合は、親機の[通話]ボタンを押すと自動で再び多者間同時通話に戻ります。

親①または親②が電源をOFFまたは電波の届かない場所に移動して通話圏外になった場合は、圏内に戻って再び電源をONにするだけで自動で再び多者間同時通話に戻ります。

## 実際の操作（現場でのトランシーバーの設定）

この設定は一度だけです。次回も同じ設定で使用する時は、電源を ON にするだけで自動で設定した状態になります。

### ① 多者間同時通話の設定

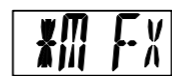
- 一度全てのトランシーバーの電源を OFF にします。
- [▲ 機能] ボタンを押しながら電源を ON にします。セットモードになり、“\* M” で始まる表示になります。
- [CUE] ボタンを押してから [▲ 機能] または [▼ 〇] ボタンを押して、右記のいずれかと同じ表示を選択して [CUE] ボタンを押します。  
親①、親②、子機は後の手順で決めますので、ここでは右のいずれかの表示にあわせるだけです。
- 以上の設定が終了したら、一度電源を OFF にします。



親①のトランシーバーです



親②のトランシーバーです



子機のトランシーバーです

### ② 多者間同時通話システムのグループ設定を行います

1 始めに、親①の [通話] ボタンを押しながら電源を ON にします。



2 親①の [通話] ボタンを長押しします。  
他のトランシーバーの設定が始まります。



3 親①の [通話] ボタンを押します。  
親②を登録します。



4 親②の電源を ON にすると自動的にこのトランシーバーが親②に設定されます。



5 親①の [通話] ボタンを押します。  
子機を登録します。



6 子機の電源を ON にすると自動的にこのトランシーバーが子機に設定されます。



7 子機が複数台ある場合は全ての子機の電源を ON にします (何台でも可能です)。



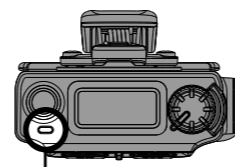
8 親①の [通話] ボタンを押します。



## 多者間同時通話がスタートします

多者間同時通話がスタートすると「話中 / 通話ランプ」が、親①親②はオレンジ色で点滅、子機は緑色で点灯し、親①親②の間で同時通話ができます。

・多者間同時通話中に子機側に混信が生じた場合、親①の [▼ 〇] または [▲ 機能] ボタンを押すと、全ての子機のチャンネルを同時に他の同じチャンネルに変更できます。



話中 / 通話ランプ

## Bluetooth® ヘッドセットを使う

オプションの Bluetooth® ヘッドセット “SSM-BT10” を使用して、ヘッドセットのケーブルが無いワイヤレス通信が可能です。SSM-BT10 は、周囲のノイズを抑えるノイズキャンセル機能により、クリアな音質での送信が可能です。

**注意** ・無線 LAN や電子レンジなどからの影響で Bluetooth® 通信に雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、無線 LAN や電子レンジの使用を中止したり、これらの機器との距離を離したり、Bluetooth® ヘッドセットと無線機の距離をできるだけ近づけてください。  
・Bluetooth® ヘッドセットと無線機を、体を挟むようにそれぞれ反対側に装着した場合、Bluetooth® 通信に雑音が入る場合があります。Bluetooth® ヘッドセットと無線機は体の同じ側に装着することをお勧めいたします。

### Bluetooth® ヘッドセットを使う

この設定は一度だけです。次回からはトランシーバーとヘッドセットの電源を ON にするだけで、自動で接続されます。

SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを 3 秒以上押し続けてペアリング (接続) モードにします。

マルチファンクションボタンを 3 秒以上押し



赤と青の点滅になります

一度トランシーバーの電源を OFF にします。

[CUE] ボタンを押しながら電源を ON にします。

“SARCH” の表示になり “\*” が点滅します。



接続したいヘッドセットを [▼ 〇] または [▲ 機能] ボタンで選択してください。

[CUE] ボタンを押します。



トランシーバーとヘッドセットが接続されると点灯します。

設定は完了です。

送信するときはヘッドセットのマルチファンクションボタンを押してください。もう一度押すと受信に戻ります。

マルチファンクションボタンを押す

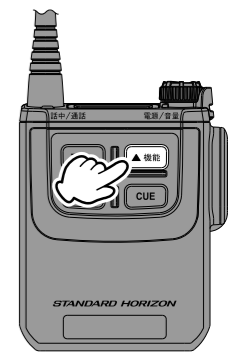


### Bluetooth® ヘッドセットを使うのをやめる

[▲ 機能] ボタンを長押しします。

Bluetooth® 機能が OFF になり “\*” が消えます。

もう一度長押しすると、再び Bluetooth® 機能が ON になり “\*” が点灯します。



### Bluetooth® ヘッドセットのマイク感度を調節する

本機に接続した Bluetooth® ヘッドセットのマイク感度を調節できます。相手から「声が小さい」と言われたときは“感度を高く”、「声が大きい」「声が割れて聞こえる」と言われたときは“感度を低く”します。

- 電源 OFF ⇒ [▲ 機能] ボタンを押しながら電源を ON にします。
- [▼ 〇] または [▲ 機能] ボタンを押して “BLV” で始まる表示にします。
- [CUE] ボタンを押します。
- [▼ 〇] または [▲ 機能] ボタンを押してマイクの感度を選びます。  
01 (感度低い) ~ 08 (感度高い)
- [CUE] ボタンを押します。
- [▲ 機能] ボタンを長押しして終了です。

